



平成 30 年 5 月 7 日

各 位

上場会社名 昭和鉄工株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 福田 俊仁  
(コード番号 5953 福証)  
問合せ先責任者 経理部長 伊達 正治  
(TEL. 092-933-6231)

## 業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 5 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 30 年 3 月期において特別損失(減損損失)が発生しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,100	百万円 300	百万円 340	百万円 230	円 銭 282. 41
今回修正予想 (B)	12,460	440	490	440	540. 28
増減額 (B-A)	360	140	150	210	
増減率 (%)	3.0	46.7	44.1	91.3	
(ご参考) 前期実績(平成 29 年 3 月期)	12,872	585	644	512	629. 54

※当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

#### 修正の理由

通期の業績につきましては、売上高は前回予想を若干上回る見通しです。利益面につきましては、営業利益、経常利益は利益率の高いサービスエンジニアリング事業(有料サービス、保守契約)の売上が好調に推移したことと液晶用熱処理炉の更なる原価改善並びに経費削減により、前回予想を上回る見込みです。当期純利益は、下記、「特別損失の発生について」に記載のとおり、減損損失を 208 百万円計上する見込みですが、平成 30 年 2 月 22 日付「固定資産の譲渡に関するお知らせ」にて公表のとおり、固定資産売却益 187 百万円を特別利益に計上すること及び税効果会計適用による回収可能性を検討して、△133 百万円(△は益)の法人税等調整額を計上する為、前回予想を上回る見込みであります。

なお、平成 30 年 4 月 25 日付「当社連結子会社の元社員による不正行為に関するお知らせ」にて公表した件の業績への影響は軽微であります。

#### 2. 特別損失の発生について

当社は、素形材加工事業が保有する固定資産について、想定した利益水準の未達等に伴い将来の投資回収の可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 208 百万円を特別損失に計上する見込みです。

以 上